



**ASPIRE**  
先端国際共同研究推進事業

# ASPIRE事業及び 2026年度単独公募について

2026年3月27日(金)



**科学技術振興機構**

国際部先端国際共同研究推進室ASPIREグループ

# 本日の内容

---

I. 事業および公募について

II. 前回公募からの変更点

III. 申請にあたってのポイント

- チーム構成について
- 渡航・招へいの考え方
- ASPIREの活動
- 採択までのスケジュール



**ASPIRE**

先端国際共同研究推進事業

# I. 事業および公募について

# 先端国際共同研究推進事業（ASPIRE）とは

## ASPIREの目的

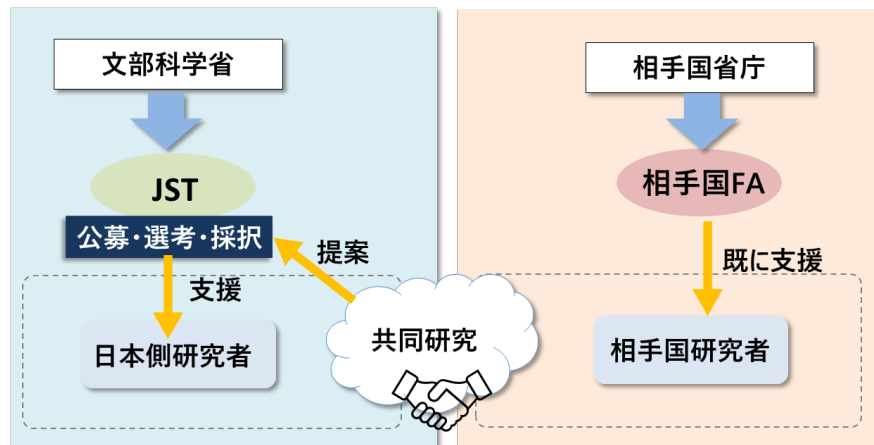
- 世界のトップ科学者層とのネットワーク構築
- 国際的なトップ研究コミュニティへの参画
- 将来持続的に世界で活躍できる人材の育成

重要分野における科学技術先進国との国際共同研究を  
1課題あたり最大5億円規模で支援。

国際ネットワーク構築・国際頭脳循環の促進、  
それらに資する若手研究者育成等に関する活動の支援を行います。

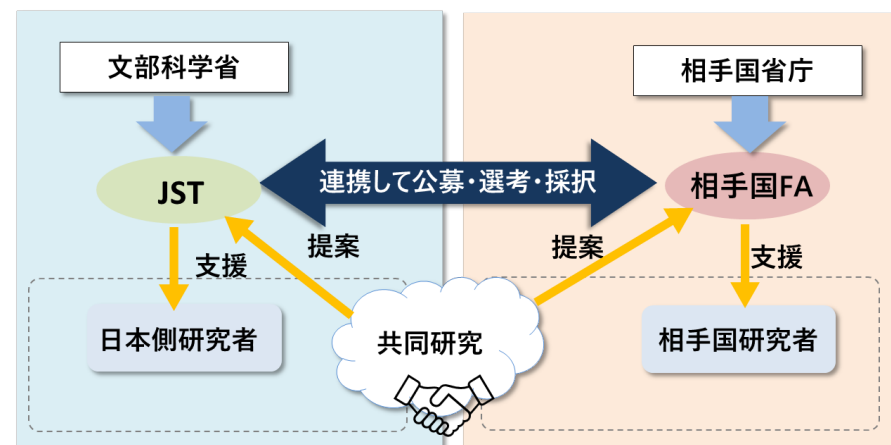
# ASPIREにおける公募の種類

## 単独公募



日本側研究者から相手側研究者との  
共同研究提案を募集  
→JSTが審査を実施  
⇒採択後JSTは日本側のみに資金を配分

## 共同公募



日本側研究者と相手国側研究者から  
共同研究提案を募集  
→JSTと相手国FAが共同で審査を実施  
⇒採択後JSTは日本側、  
相手国FAは相手国側に資金を配分

# 単独公募

	TopのためのASPIRE (ASPIRE for Top Scientists)	次世代のためのASPIRE (ASPIRE for Rising Scientists)
対象	すでにその分野のトップ研究者として <u>国内・外で卓越した研究実績があり、潤沢な研究資金を得ており</u> 、本事業の目的に合致する国際共同研究をリードしていく研究者	すでに <u>研究自体に必要な資金と独立した研究環境を得ており</u> 、将来のトップ研究者として活躍が期待される研究者
研究分野	AI・情報・知能ロボティクス、バイオ、エネルギー、マテリアル、量子、半導体、ネットワーク・通信の7分野	
対象国・地域	オーストラリア、オーストリア、ベルギー、カナダ、チェコ、デンマーク、EU、フィンランド、フランス、ドイツ、イタリア、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、韓国、スペイン、スウェーデン、スイス、英国、米国	
支援規模	最大3.8億円 (直接経費の30%にあたる間接経費を含む場合、最大5億円)	最大6,900万円 (直接経費の30%にあたる間接経費を含む場合、最大9,000万円)
支援期間	5年間	3年間

※招へい型公募はLOTUSプログラム（ASPIRE型）にて実施

# 特徴的な予算用途

**直接経費総額の 7 割以上を目安として、最先端の研究開発に繋がる国際的なネットワークの構築・拡大や、国際的にトップ水準の研究機会の提供などを通じた将来が期待される若手研究者の育成を目的として使用するものとします。**

例)

- ・トップ研究者・若手研究者間のコネクション強化を目的としたWS開催
- ・相手国側への若手研究者の渡航費と渡航先で発生する費用
- ・招聘にかかる費用（渡航費、滞在費、報酬など）
- ・渡航や交流の実施にかかるコーディネート業務を行うスタッフの person 費

※研究推進のみを目的とした雇用や物品費等は本費用に含まれません。



**ASPIRE**  
先端国際共同研究推進事業

## II. 前回公募からの変更点

# 変更点① 研究分野・領域・事例の追加

## 第1期（2025年度公募実施分まで）

分野	領域
AI・情報	「人間理解・尊重」、「多様性」、「持続可能」の理念のもと、Society 5.0の実現に向けたAI・情報研究
バイオ	バイオエコノミー・持続可能な農業の推進、環境負荷の低減等に係るバイオテクノロジー研究
エネルギー	カーボンニュートラルの実現に向けたエネルギー研究
マテリアル	カーボンニュートラルや循環経済等に資するマテリアル研究
量子	生産性革命の実現や国及び国民の安全・安心の確保に貢献する量子コンピュータや量子技術に係る研究や革新的な機能を有する量子物質の研究
半導体	半導体産業基盤の強靱化に係る研究
通信	デジタル社会に対応した次世代インフラの整備に資する情報通信技術の研究



## 第2期（2026年度公募以降）

分野	領域
AI・情報・ <b>知能ロボティクス</b>	「人間理解・尊重」、「多様性」、「持続可能」の理念のもと、Society 5.0の実現に向けたAI・情報研究 <b>及び知能ロボティクスに関する研究</b>
バイオ	<b>農業・食品産業等を含む多様な分野における持続可能なバイオエコノミーの推進</b> 、環境負荷の低減等に係るバイオテクノロジー研究
エネルギー	カーボンニュートラルの実現に向けたエネルギー研究
マテリアル	カーボンニュートラル・循環経済 <b>の実現と産業競争力を支える革新的先端マテリアルの開拓に関する研究</b>
量子	生産性革命の実現や国及び国民の安全・安心の確保に貢献する量子コンピュータや量子技術に係る研究や革新的な機能を有する量子物質の研究
半導体	半導体産業基盤の強靱化に係る研究
<b>ネットワーク・通信</b>	<b>スマート社会・デジタルインフラを支えるコンピュータネットワーク基盤技術及び次世代情報通信技術、サイバーフィジカルシステムとその応用に関する研究</b>

# 変更点① 研究分野・領域・事例の追加

## AI・情報・知能ロボティクス

人工知能研究及び、情報学基礎、計算基盤、人間情報学、各種応用領域を含む情報学全般に加え、AI・先端ロボット関連技術（ロボットの知能化、自律システム、実世界情報処理、物理エージェント、エージェント型AI、フィジカルAI等）に関する研究 等

## バイオ

工学・化学・物理学・農学・生物学・生命情報科学などを包含した分野横断型研究 例えば、バイオ計測基盤技術、エンジニアリングバイオロジー、予測生物学、未来型食料生産、バイオ DX、スマート農業、バイオエコセンシング 等

## エネルギー

次世代太陽電池、蓄電池、水電解による水素製造、水素利用技術（燃料電池など）、省エネルギー、再生可能エネルギー、電力系統安定化・エネルギーインフラ高度化、ライフサイクル評価（LCA）等の統合的評価手法に関する研究 等

## マテリアル

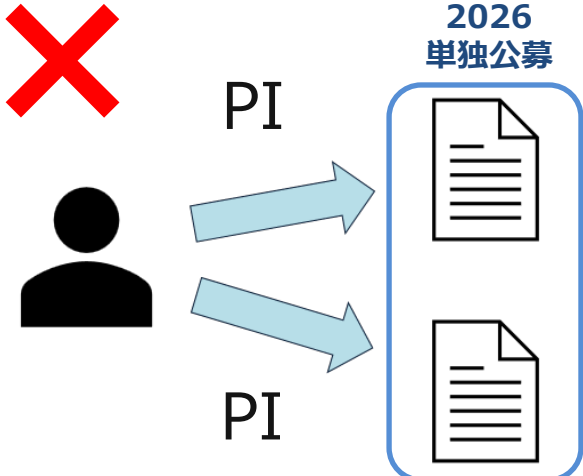
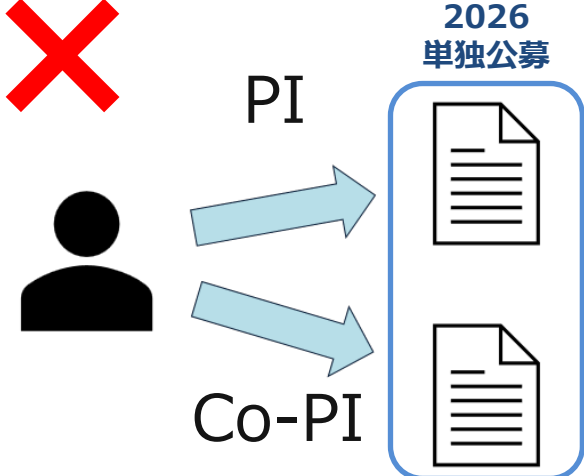
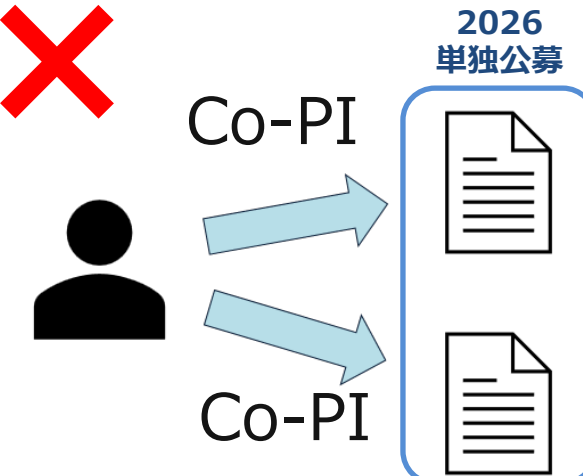
究極の金属・無機、有機・高分子材料等の開拓に向けた基盤研究、カーボンニュートラル・循環経済に向けた材料創製及び低環境負荷プロセスの開発、材料インフォマティクス等を活用した製造基盤技術、並びにそれらの社会実装に向けた応用研究 等

## ネットワーク・通信

AIネイティブ、コンピュータネットワーク、クラウドネットワーク、分散クラウド、デジタルツインネットワーク、有線・無線ネットワークシステムとデバイス、電波・光・量子等の通信、ネットワークデバイス、ネットワークセキュリティ 等、並びに、スマート社会へのその応用としての例えば、ネットワークロボット、ITS（高度道路交通システム）等に係る基盤、及び応用研究、情報工学・情報科学との分野横断研究 等

## 変更点② 重複申請に関するルール

- 2026年度ASPIRE単独公募に申請できるのは1件のみです
- 2026年度ASPIRE公募（2026年度に公募を開始するJST及びAMEDが実施する公募）において研究代表者及び主たる共同研究者として採択されるのは1件までです

 <p>2026 単独公募</p>	 <p>2026 単独公募</p>	 <p>2026 単独公募</p>
<p>同一研究者が 2026年度単独公募に PIとして複数申請</p>	<p>同一研究者が 2026年度単独公募に PI・Co-PIとして複数申請</p>	<p>同一研究者が 2026年度単独公募 Co-PIとして複数申請</p>

## 変更点② 重複申請に関するルール

- 研究代表者（PI）による応募  
支援中課題のPIによる応募については、制限があります。

		新規申請先の区分	
		TopのためのASPIRE	次世代のためのASPIRE
支援中課題の区分	TopのためのASPIRE	支援最終年度の場合のみ可（2026年度は該当なし）	不可
	次世代のためのASPIRE	可	2026年度が支援最終年度の場合のみ可
	ASPIRE共同公募	不可	不可

- 主たる共同研究者（Co-PI）による応募  
支援中課題のCo-PIの応募については、いずれも可能です。ただし、本公募で採択された場合は、既に支援されている課題からは離脱していただきます。なお、離脱した課題については、予算やチーム編成の見直しを含めた再審査を行います。

# 変更点③ 研究セキュリティ確保の取組

**全分野を対象に研究セキュリティ確保のための取組を実施します。**

- 「研究セキュリティの確保に関する取組のための手順書」（令和7年12月内閣府研究セキュリティと研究インテグリティの確保に関する有識者会議）においては、我が国の経済安全保障上の要請に応えるのみならず、G7各国やその他の同志国と相互の信頼を構築し、引き続き、国際共同研究等を円滑に推進するために、研究セキュリティ確保が必要とされています。
- 本公募では、研究セキュリティの確保の観点から、研究代表者の所属する研究機関及び主たる共同研究者の所属する研究機関に、「研究セキュリティの確保に関する取組のための手順書」に基づくリスクマネジメントの実施を求めます。



**ASPIRE**  
先端国際共同研究推進事業

# III.申請にあたってのポイント

# 申請にあたってのポイント

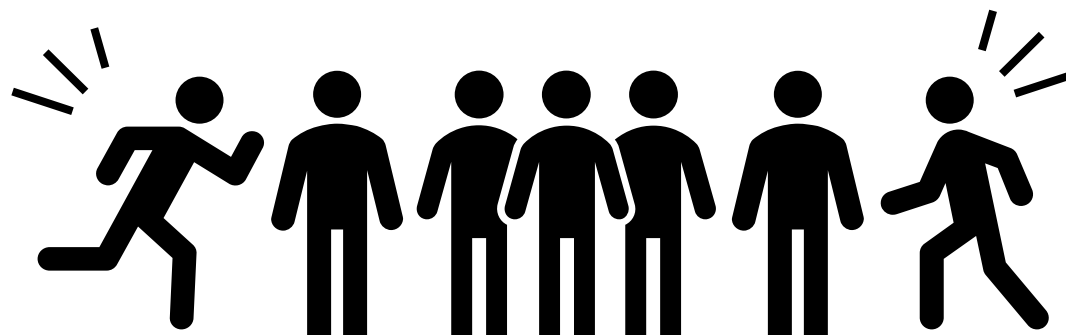
1. チーム構成について
  - 日本側研究チーム
  - 相手側研究チーム
2. 渡航・招へいの考え方
3. ASPIREの活動について
  - 国際頭脳循環の促進に向けた取組み
  - おもな活動支援と協力依頼
4. 採択までのスケジュール



# 1. チーム構成について：日本側研究チーム

---

- ① 研究代表者 (PI)
- ② 主たる共同研究者 (Co-PI)
- ③ 研究参加者



# 1. チーム構成について：日本側研究チーム

## ① 研究代表者（PI） 1名 ★必須

- 研究課題全体の研究推進に責任を負う
- 日本国内の大学や研究機関、企業に所属
- 企業所属も可

## ② 主たる共同研究者（Co-PI）

- 複数名の参加が可能
- 原則、PIとは別組織所属
- PI同様、JSTと委託研究契約を結び、予算配分がある
- 日本国内の大学や研究機関、企業に所属
- 企業所属も可

# 1. チーム構成について：日本側研究チーム

研究計画に沿っていることを前提に  
柔軟な交流活動が可能

## ③ 研究参加者

- (1) 相手側へ渡航する若手研究者
  - 以下どちらかに当てはまる方、最低1名 ★必須
    - (i) 修士博士課程（博士前期後期課程）に在籍する学生
    - (ii) 大学、公的研究機関等で研究活動を行う研究者で学位取得後15年程度以内
  - PI、Co-PI自身でもよい
- (2) 渡航や交流のコーディネートをするスタッフ
  - ASPIREによる支援の特色
- (3) 学生（学部生含む）
  - チーム内で実質的な役割を担う
- (4) 技術者、研究補助者など

# 1. チーム構成について：相手側研究チーム

## ① 研究代表者（PI） ★必須

- 対象国地域からの何らかの支援を受けている（またはこれから受ける）ことを示す Letter of Intent（LoI）が必要
- 複数名と組むことが可能
- 原則、相手側研究チームのCo-PI、研究参加者等の情報は不要
- 支援期間中にも増員が可能（LoIの提出が必要）

### ※対象国・地域:

オーストラリア、オーストリア、ベルギー、カナダ、チェコ、デンマーク、EU、フィンランド、フランス、ドイツ、イタリア、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、韓国、スペイン、スウェーデン、スイス、英国、米国

## ② 招へいする研究者

- 原則、相手側研究チームから招へいする

## 2. 渡航・招へいの考え方

研究計画に沿っていることを前提に  
柔軟な交流活動が可能

### ① 渡航先研究機関

- 渡航先での活動の進め方は国際共同研究契約（CRA）に盛り込むなど、取決めを行い、トラブルを回避
- ASPIREの趣旨に合致し研究遂行上必要である場合、一時的な渡航であれば対象国・地域以外でも可

### ② 国際会議への出席など、一時的な渡航

- ASPIREの趣旨に合致し研究遂行上必要である場合、対象国・地域以外でも可

### ③ 招へいする研究者

- 旅費、滞在費、研究費、人件費・謝金が支出可能

# 3. ASPIREの活動について

## ● 国際頭脳循環の促進に向けた取り組みの例

### ① 若手研究者の育成

- PIやECR（若手研究者）による海外大学等でのセミナーツアー
- 日本と海外の、ECRによるECRのためのネットワーキングイベント
- 合宿型イベントの実施
- 渡航する研究者選定のための委員会設置
- 長期・短期渡航をチーム内で組み合わせ効率的な研究成果を上げる

### ② 国際的な活動や拠点の形成

- 国際シンポジウムの立ち上げ、シリーズ化
- 海外への拠点ラボ設置
- 有名国際会議の日本誘致

### ③ サポート体制の充実

- 専属コーディネーターの雇用： 渡航・招へい、イベント企画の提案・実施のサポートや、CRA締結、ビザ取得、生活面でのサポートなど
- 渡航する研究者へのメンタリング： シニア研究者と若手研究者がペアとなり相手国の研究ペアと研究進捗管理
- 事務部門との連携強化： 渡航・招へい時の費用・支払い方法も含めた取決め等

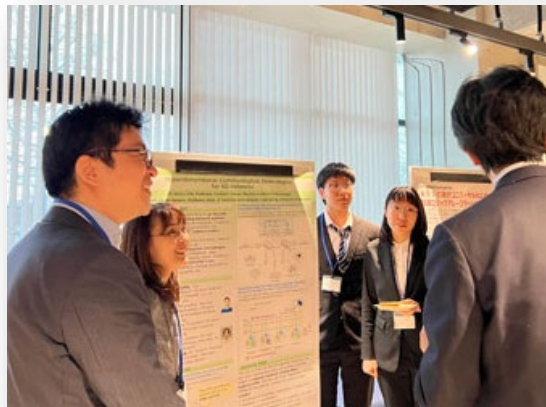
note



[https://note.com/jst\\_aspire](https://note.com/jst_aspire)

# 3. ASPIREの活動について

## ● おもな活動支援と協力依頼



## 4. 採択までのスケジュール

事前連絡（任意）	2026年4月24日（金）正午
研究提案の受付締切（e-Rad）	5月19日（火）正午
書類審査期間	5月下旬～8月上旬
面接審査期間（書類審査を通過された方のみ）	8月～9月
審査結果の通知	10月
研究開始	12月

### 重要！

- 日程は面接スケジュールを含め予告なく変更することがあります。ASPIREウェブサイトで常に最新情報をご確認ください。
- 締切時刻までにe-Radによる応募が完了されなかった場合は、いかなる理由があっても審査の対象になりません。**締切直前のお問合せは固くお断りします。**
- 面接審査の対象か否かを含め、審査の途中経過に関するお問合せには回答いたしかねます。



**ASPIRE**  
先端国際共同研究推進事業

**ご応募お待ちしております！**